

1/5/1

DIALOG(R) File 351:Derwent WPI

(c) 2002 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

012224509 **Image available**

WPI Acc No: 1999-030615/ 199903

XRPX Acc No: N99-023695

Information communication apparatus for E-mail - selects and outputs data of E-mail from receiving file storage management unit to facsimile based on received image data

Patent Assignee: SANYO ELECTRIC CO LTD (SAOL)

Number of Countries: 002 Number of Patents: 002

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 10293733	A	19981104	JP 97100268	A	19970417	199903 B
KR 98081464	A	19981125	KR 9813594	A	19980416	200005

Priority Applications (No Type Date): JP 97100268 A 19970417

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 10293733	A	12		G06F-013/00	
KR 98081464	A			H04N-001/00	

Abstract (Basic): JP 10293733 A

The apparatus has a computer (200) where data for E-mail is produced. A transceiver (24) generates identification information for differentiating image data produced on a facsimile (100). The identification information is added to the image data and transmitted.

The data is received and stored in a file storage management unit (25). A detector detects if it aims at image data produced on facsimile based on information added. If it is so, the data is chosen and output from file storage management unit. Then, it is sent automatically to the facsimile.

ADVANTAGE - Differentiates and manages various communications.

Dwg.1/5

Title Terms: INFORMATION; COMMUNICATE; APPARATUS; MAIL; SELECT; OUTPUT; DATA; MAIL; RECEIVE; FILE; STORAGE; MANAGEMENT; UNIT; FACSIMILE; BASED; RECEIVE; IMAGE; DATA

Derwent Class: T01; W02

International Patent Class (Main): G06F-013/00; H04N-001/00

International Patent Class (Additional): G06F-003/12; H04N-001/32

File Segment: EPI

11017 U.S. PTO

10/077891



02/20/02

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-293733

(43) 公開日 平成10年(1998)11月4日

11017 U.S. PTO

10/077891

02/20/02

(51) Int.Cl.

G 0 6 F 13/00

3/12

H 0 4 N 1/32

識別記号

3 5 1

F I

G 0 6 F 13/00

3/12

H 0 4 N 1/32

3 5 1 G

A

Z

審査請求 未請求 請求項の数7 OL (全12頁)

(21) 出願番号

特願平9-100268

(22) 出願日

平成9年(1997)4月17日

(71) 出願人

G00001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72) 発明者

保母 芳博

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三

洋電機株式会社内

(74) 代理人

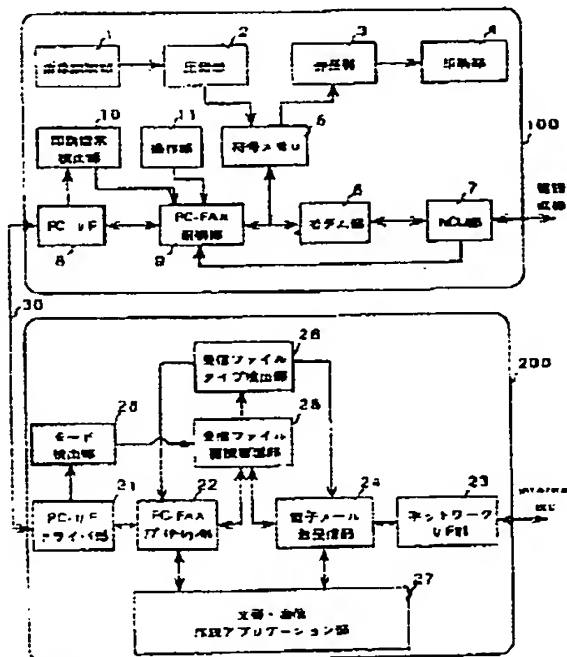
弁理士 島居 祥

(54) 【発明の名称】 情報通信装置

(57) 【要約】

【課題】 各種の通信情報を区別して管理することができ、情報通信装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 コンピュータ装置200上で作成したデータを対象とした電子メールと、ファクシミリ装置100上で作成した画像データを対象とした電子メールとを区別するための識別情報を電子メール送受信部24が生成し、これを電子メールに付加して送信する。受信側となるときには、受信した電子メールを受信ファイル蓄積管理部25に格納し、電子メールに付加されている識別情報に基づいて当該電子メールがファクシミリ装置上で作成した画像データを対象としたものであるか否かを検出し、当該画像データを対象としたものであると判断した場合には前記受信ファイル蓄積管理部25から当該電子メールのデータを選択して出力し、ファクシミリ装置100の印刷部4にて自動的に印刷する。



(2)

特開平10-293733

【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも第1の種類の送信と第2の種類の送信を行うことができる情報通信装置において、前記第1の種類の送信と第2の種類の送信を互いに区別する識別情報を生成する手段と、前記識別情報を送信する手段とを備えたことを特徴とする情報通信装置。

【請求項2】 受信内容を格納する格納手段と、受信した識別情報に基づいて各受信の種類毎に選択して前記格納手段から受信内容を出力する手段とを備えたことを特徴とする情報通信装置。

【請求項3】 コンピュータ装置上で作成したデータを対象とした電子メールの通信が行えるとともに、ファクシミリ装置上で作成した画像データを対象とした電子メールの通信が行える情報通信装置において、コンピュータ装置上で作成したデータを対象とした電子メールと、ファクシミリ装置上で作成した画像データを対象とした電子メールとを区別するための識別情報を生成する手段と、前記識別情報を電子メールに付加して送信する手段とを備えたことを特徴とする情報通信装置。

【請求項4】 前記識別情報を電子メールのサブジェクト情報内に組み込むことを特徴とする請求項3に記載の情報通信装置。

【請求項5】 受信した電子メールを格納する格納手段と、電子メールに付加されている識別情報に基づいて当該電子メールがファクシミリ装置上で作成した画像データを対象としたものであるか否かを検出し、当該画像データを対象としたものであると判断した場合に、前記格納手段から当該電子メールのデータを選択して出力する手段とを備えたことを特徴とする情報通信装置。

【請求項6】 前記選択して出力処理を行うか否かを予め設定された設定情報に基づいて行うことを特徴とする請求項5に記載の情報通信装置。

【請求項7】 ファクシミリ装置上で作成した画像データをコンピュータ装置に転送し、このコンピュータ装置により前記画像データを対象とした電子メールの送信を行うようにした情報通信装置において、前記ファクシミリ装置には、前記画像データをコンピュータ装置に転送する際に、当該画像データが電子メールで送信すべきものであることを示す指示情報を出力する手段が設けられており、前記コンピュータ装置には、前記指示情報を受けたときの画像データを電子メールで送信すべきものであるとして管理する手段を備えていることを特徴とする情報通信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えば、コンピュータ装置上で作成したデータを対象とした電子メール送信、ファクシミリ装置上で作成した画像データを対象とした電子メール送信、或いは、ファクシミリ通信を行い得る情報通信装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 原稿データをイメージスキャナにて読み取り、この原稿データを公衆回線等を用いて遠隔地に伝送するファクシミリ装置が普及している。そして、近年では、パーソナルコンピュータやワードプロセッサ等のコンピュータ装置で作成した文書情報を直接ファクシミリ送信するためのファクシミリボード等が開発され、これらコンピュータ装置、ファクシミリボード、及びファクシミリ装置間のインターフェースが標準化（EIA規格 Class 1, 2）されてきている。この種の通信をPCファクシミリと称する。また、インターネット等のコンピュータ通信網を用い、コンピュータ装置上で作成した文書情報等を遠隔地の他のコンピュータ装置に伝送することも容易になってきている（いわゆる電子メール）。更に、ファクシミリ装置で原稿を読み取って得たファクシミリ画像データを前記PCファクシミリの基本機能を用いてコンピュータ装置に与え、電子メールとして上記コンピュータ通信網を用いて伝送することも考えられている（以下、これをインターネットファクシミリと称する）。また、特開平8-242326号公報（IPC H04N 1/00）には、ファクシミリの操作による電子メール送受信手法を示したファクシミリ型電子メール装置が開示されている。

【0003】そして、上記のPCファクシミリ通信と電子メール通信を統合環境で扱うことを可能とするプラットフォーム等が出現しており、両情報の関係が緊密になってきている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記の統合化されたプラットフォーム等においては、受信したPCファクシミリファイルと電子メールファイルは同一のメモリ管理エリアに確保されるため、電子メールファイルのみ或いはPCファクシミリファイルのみを選択して自動的にプリント出力するといった処理を行うことが困難であった。また、同じ電子メール受信であっても、通常の電子メールなのか、それとも前記インターネットファクシミリのごとく、画像情報が付加されている電子メールなのかを区別することができないので、上述したのと同様の問題が生じている。

【0005】この発明は、上記の事情に鑑み、各種の通信情報を区別して管理することができる情報通信装置を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 この発明の情報通信装置は、上記の課題を解決するために、送信側の構成としては、少なくとも第1の種類の送信と第2の種類の送信を行うことができる情報通信装置において、前記第1の種類の送信と第2の種類の送信を互いに区別する識別情報を生成する手段と、前記識別情報を送信する手段とを備える。そして、受信側の構成としては、受信内容を格納

(3)

特開平10-293733

する格納手段と、受信した識別情報に基づいて各受信の種類毎に選択して前記格納手段から受信内容を読み出す手段とを備える。

【0007】上記の構成であれば、第1の種類通信と第2の種類通信を統合環境で扱えるプラットフォーム上で共有管理した複数の受信データのなかから、前記識別情報に基づいて特定受信データのみを選択して自動的にプリント出力する等の制御が可能となる。

【0008】ここで、例えば、第1の種類通信として電子メール通信を挙げることができ、第2の種類通信としてPCファクシミリ通信を挙げることができる。また、前記電子メールが、第1の種類通信の電子メールと、第2の種類通信の電子メールの二つの種類がある場合には、全体で3つの種類の通信があるとして、それらを区別するようにしてもよいものである。

【0009】また、この発明の情報通信装置は、送信側の構成としては、コンピュータ装置上で作成したデータを対象とした電子メールの通信が行えるとともに、ファクシミリ装置上で作成した画像データを対象とした電子メールの通信が行える情報通信装置において、コンピュータ装置上で作成したデータを対象とした電子メールと、ファクシミリ装置上で作成した画像データを対象とした電子メールとを区別する識別情報を生成する手段と、前記識別情報を電子メールに付加して送信する手段とを備える。そして、受信側の構成としては、受信した電子メールを格納する格納手段と、電子メールに付加されている識別情報に基づいて当該電子メールがファクシミリ装置上で作成した画像データを対象としたものであるか否かを検出し、当該画像データを対象としたものであると判断した場合に、前記格納手段から当該電子メールのデータを選択して出力する手段とを備える。

【0010】上記の構成であれば、コンピュータ装置上で作成したデータを対象とした電子メールと、ファクシミリ装置上で作成した画像データを対象とした電子メールとを統合環境で扱えるプラットフォーム上で共有管理した複数の受信データのなかから、前記識別情報に基づいて特定受信データのみを選択して自動的にプリント出力する等の制御が可能となる。

【0011】前記の識別情報は電子メールのサブジェクト情報内に組み込むようにしてもよい。また、前記の選択して出力する処理を行うか否かを予め設定された設定情報に基づいて行うようにしてもよい。

【0012】また、この発明の情報通信装置は、ファクシミリ装置上で作成した画像データをコンピュータ装置に転送し、このコンピュータ装置により前記画像データを対象とした電子メールの送信を行うようにした情報通信装置において、前記ファクシミリ装置には、前記画像データをコンピュータ装置に転送する際に、当該画像データが電子メールで送信すべきものであることを示す指示情報を出力する手段が設けられており、前記コンピュ

ータ装置には、前記指示情報を受けたときの画像データを電子メールで送信すべきものであるとして管理する手段を備えていることを特徴とする。

【0013】かかる構成であれば、送信データのなかから特定の送信データのみを選択して例えば直ちに送信するといった制御が可能となる。

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図に基づいて説明する。

【0014】図1は、この発明の実施の形態の情報通信装置を示した概略の構成図である。この情報通信装置は、電話回線に接続されるファクシミリ装置100とインターネットに接続されるコンピュータ装置200とが通信路30を介して接続されて成るものである。ここで、この情報通信装置は、コンピュータ装置200で作成した文書情報をClass 1等により前記通信路30を介してファクシミリ装置100が受け取って電話回線を用いてファクシミリ送信するPCファクシミリ通信、コンピュータ装置200がインターネットを用いて行う通常の電子メール通信、ファクシミリ装置100で読み取った原稿の画像データをClass 1等により前記通信路30を介してコンピュータ装置200が受け取ってインターネットを用いて行うインターネットファクシミリ通信が行えるようになっている。

【0015】ファクシミリ装置100は、ファクシミリの基本的構成部分である画像読取部1、読み取った画像データを圧縮(MH、MR、MMR等の方式による符号化データ)を生成する圧縮部2、符号化データをファイル化して蓄積する符号メモリ部5、符号化データを伸長する伸長部3、伸長された原稿データを印字する印刷部4、送受信データの変復調を行うモデム部6、公衆回線に接続されたNCU(制御ユニット)7、ユーザーにより操作される操作部11を備えるとともに、この発明にかかる構成部分として、PCインターフェース部8、PCファクシミリ制御部9、及び印刷指示検出部10を備えている。

【0016】前記のPCインターフェース部8は、前記通信路30を介してコンピュータ装置200のPCインターフェースドライバ部21に接続されており、所定の規格(例えば、RS232C)に従ってコンピュータ装置200との間でのデータ伝送を行う。

【0017】前記PCファクシミリ制御部9は、例えばClass 1プロトコルを実行してコンピュータ装置200との間で命令やデータのやり取りのための手順を実行する。また、使用者が前記の操作部11を操作してインターネットファクシミリの指示をしたときやスキャナ機能の指示をしたときには、当該操作部11からその旨の情報を受け取り、これを指示情報としてコンピュータ装置200に与えるようになっている。更に、印刷指示コマンド有り印刷指示検出部10から受け取ったときには、コンピュータ装置200から転送されてくるデー

(4)

特開平10-293733

タを印刷部4を用いて印刷させる制御を行うようになっている。

【0018】印刷指示検出部10は、コンピュータ装置200から送られてくる印刷指示コマンドの有無を検出し、この印刷指示コマンドの有無を前記PCファクシミリ制御部9に知らせるようになっている。

【0019】コンピュータ装置200は、図示しないLANと当該コンピュータ装置200とを接続するネットワークインターフェース部23と、電子メールの送受信を行うとともに通信の種類を示す識別情報を送信する電子メール送受信部24と、受信したファイルを蓄積管理する受信ファイル蓄積管理部25と、受信ファイルの形式を判別してその情報をPCファクシミリアプリケーション部22および電子メール送受信部24に伝える受信ファイルタイプ検出部26、文書や画像を作成するためのソフトウェアである文書/画像作成アプリケーション部27と、例えばClass1プロトコルを実行してファクシミリ装置100との間で命令やデータのやり取りのための手順を実行するPCファクシミリアプリケーション部22と、前記通信路30を介してファクシミリ装置100に接続されており、RS232Cにてファクシミリ装置100との間でのデータ伝送を担うPCインターフェースドライバ21と、ファクシミリ装置100がどのようなモード（スキャナモード或いはインターネットファクシミリ送信モード）を要求しているのかを判別するモード検出部28とを備えて構成されている。なお、これら各構成要素における詳細な動作（処理内容）は、後述する図2乃至図4のフローチャートにおいて明らかにする。

【0020】上記情報通信装置におけるファクシミリ装置100をスキャナとして利用する場合の動作処理を図2のフローチャートに基づいて説明する。

【0021】まず、ファクシミリ装置100の画像読取部1にスキャナモードで読み込むための原稿をセットする（ステップ1）。次に、操作部11の所定のキーを操作してスキャナを指示する（ステップ2）。このスキャナ指示がなされると、PCファクシミリ制御部9は、PCインターフェース部8を介してコンピュータ装置200に対して疑似着信信号を送出する（ステップ3）。コンピュータ装置200は上記の疑似着信信号をPCインターフェースドライバ部21を介してPCファクシミリアプリケーション部22で受け取り、着信を検出する（ステップ4）。また、ファクシミリ装置100のPCファクシミリ制御部9からは、スキャナモードであることを示す指示情報が送出され、この指示情報をPCインターフェース部8およびPCインターフェースドライバ部21を介してモード検出部28が受け取り、スキャナモードであることを検出する（ステップ5）。

【0022】受信ファイル蓄積管理部25がモード検出部28からスキャナモードであることを示す信号を受け

取ると、スキャナデータを保存するためのファイルをオープンする（ステップ6）。そして、PCファクシミリアプリケーション部22は、ファクシミリ受信手順を開始する（ステップ7）。これとともに、ファクシミリ装置100の画像読取部1が動作し、原稿の内容を読み取る（ステップ8）。画像読取部1により順次イメージ化されたデータは、圧縮部2によりデータ圧縮され、符号メモリ5に蓄積され、PCファクシミリ制御部9にて読み出され、PCインターフェース部8、PCインターフェースドライバ部21、及びPCファクシミリアプリケーション部22を介して受信ファイル蓄積管理部25へ書き込まれる（ステップ9）。このステップ9の処理は全ての画像データが読み込まれるまで続行され、全てが読み込まれた後は（ステップ10）、コンピュータ装置200の受信ファイル蓄積管理部25においてスキャナデータを受信保存するファイルをクローズする（ステップ11）。

【0023】上記の動作により、ファクシミリ装置100側で読み取られた原稿データがPCファクシミリ通信機能によってコンピュータ装置200へと転送され、スキャナ機能が実現されることになる。なお、このモードにおいては、インターネット経由でイメージデータを受信したことを示す識別情報（後に詳しく説明する）は付加されていないので、後述する自動印刷処理において、スキャナデータが自動的に印刷処理されてしまうことはない。

【0024】次に、上記情報通信装置におけるインターネットファクシミリ送信の動作を図3のフローチャートに基づいて説明する。

【0025】まず、画像読取部1に送信すべき原稿をセットする（ステップ21）。次に、操作部11を操作してインターネットファクシミリ送信を指示する（ステップ22）。このインターネットファクシミリ送信指示がなされると、PCファクシミリ制御部9は、PCインターフェース部8を介してコンピュータ装置200に対して疑似着信信号を送出する（ステップ23）。コンピュータ装置200は上記の疑似着信信号をPCインターフェースドライバ部21を介してPCファクシミリアプリケーション部22で受け取り、着信を検出する（ステップ24）。また、ファクシミリ装置100のPCファクシミリ制御部9は、これから転送する画像データが電子メールで送信すべきものであることを示す指示情報をコンピュータ装置200に送出する。コンピュータ装置200のモード検出部28は、上記指示情報をPCインターフェース部8およびPCインターフェースドライバ部21を介して受け取り、インターネットファクシミリ送信モードであることを検出することになる（ステップ25）。

【0026】そして、前記モード検出部28は、インターネットファクシミリ送信モードであることを受信ファ

(5)

特開平10-293733

イル蓄積管理部25に伝える。すると、受信ファイル蓄積管理部25は、インターネットファクシミリ送信データを保存するためのファイルをオープンする(ステップ26)。次に、PCファクシミリアプリケーション部22は、ファクシミリ受信手順を開始する(ステップ27)。これとともに、ファクシミリ装置100の画像読取部1が動作し、原稿の内容を読み取る(ステップ28)。画像読取部1により順次イメージ化されたデータは、圧縮部2によりデータ圧縮され、符号メモリ5に蓄積され、PCファクシミリ制御部9にて読み出され、PCインターフェース部8、PCインターフェースドライバ部21、及びPCファクシミリアプリケーション部22を介して受信ファイル蓄積管理部25へ書き込まれる(ステップ29)。このステップ29の処理は全ての画像データが読み込まれるまで続行され(ステップ30)、全てが読み込まれた後は、受信ファイル蓄積管理部25においてインターネットファクシミリ送信データを受信保存するファイルをクローズする(ステップ31)。

【0027】このように、前記ファクシミリ装置100は、前記画像データをコンピュータ装置200に転送する際に、当該画像データが電子メールで送信すべきものであることを示す指示情報を出力し、前記コンピュータ装置100は指示情報を受けたときの画像データを電子メールで送信すべきものであるとしてそれ用のファイルに管理する(ステップ25乃至ステップ29)ので、以下に説明するように、送信データのなかから特定の送信データのみを選択して例えば直ちに送信するという制御が可能となる。

【0028】次に、受信ファイルタイプ検出部26は、受信ファイル蓄積管理部25に蓄積されているデータのなかからインターネットファクシミリ送信すべきファイルを検索する(ステップ32)。電子メール送受信部24の送信処理部は、前記受信ファイルタイプ検出部26から与えられる指示により起動し(ステップ33)、検索されたファイルから個々の送信すべき内容を読み出し、この読み出したデータを電子メールフォーマットに変換してネットワークインターフェース部23を介してインターネットへ電子メールとして送信する(ステップ34)。ここで、電子メール送受信部24は、電子メールフォーマットに変換して送信する際には、サブジェクト情報(件名を示すのに用いられている)内に、当該電子メールがインターネットファクシミリ送信によるものであることを示す識別情報(例えば、特定の文字列にて構成する)を自動的に挿入する。

【0029】次に、上記情報通信装置においてインターネットファクシミリ受信処理を行う場合にこの受信情報を自動的に印字する処理動作を、図4のフローチャートに基づいて説明する。

【0030】待機状態においては、電子メール送受信部

24は、ネットワークインターフェース部23を介してネットワークにある電子メールサーバーに対して着信メールの有無をチェックする(ステップ41)。着信メールがある場合には、電子メール送受信部24は、前記電子メールサーバーから着信メール情報を受け取り、受信ファイル蓄積管理部205に蓄積する(ステップ42)。ここで、送信側がこの発明の情報通信装置の機能、即ち、電子メールのサブジェクト情報内に識別情報を組み込む機能を有しているとする。受信ファイルタイプ検出部26は、上記の受け取った電子メールの受信ファイルタイプを上記の識別情報に基づいてチェックし(ステップ43)、インターネットファクシミリ送信可否かを判断し(ステップ44)、インターネットファクシミリ送信であると判断した場合は、ステップ41に進む。一方、インターネットファクシミリ送信でないと判断した場合は、自動プリントモードが設定されているかを判断し(ステップ45)、自動プリントモードが設定されていなければステップ41に進み、自動プリントモードが設定されていればステップ46に進む。

【0031】ステップ46では、自動プリント処理を実行するために、PCファクシミリアプリケーション部22を起動する。PCファクシミリアプリケーション部22は、Class 1等のプロトコルでPCファクシミリ通信動作を開始し、印字指示コマンドをPCインターフェースドライバ部21を介してファクシミリ装置100のPCインターフェース部8に送信する(ステップ47)。送信された印字指示コマンドがPCインターフェース部8を介して印字指示検出部10にて検出されされると、この印字指示検出部10は、PCファクシミリ制御部9に対して印字モード動作信号を与える。

【0032】そして、PCファクシミリアプリケーション部22は、受信ファイルタイプ検出部26のタイプ検出指示により、受信ファイル蓄積管理部25に蓄積されているインターネットファクシミリの受信内容を順次読み出して符号化し、この符号化データをPCインターフェースドライバ部21を介してファクシミリ装置100へ転送する(ステップ48)。このとき、ファクシミリ装置100は、転送されてくる符号化データを、PCインターフェース部8およびPCファクシミリ制御部9を介して符号メモリ5に格納する。この処理は全ての印刷対象データが読み込まれるまで続行され(ステップ49)、全てが読み込まれた後は、ファクシミリ装置100の伸長部3は、符号データをイメージデータに戻し(ステップ50)、このイメージデータを印刷部4が受け取って記録紙にプリントする(ステップ51)。

【0033】このように、電子メールファイルとインターネットファクシミリファイルを統合環境で取り扱えるプラットフォーム上において、それぞれの通信から受信したファイルを統合的に管理した場合でも、複数の受信データのなかから特定の受信データのみを選択して自動

(6)

特開平10-293733

プリント等を行う制御が可能となる。特に、図4に示した処理であれば、インターネットを経由して通常の電子メールを受信した場合には、自動的な印刷は行わず、インターネットファクシミリを受信した場合には、通常のファクシミリ装置が受信情報を原則的に印字出力するのと同様、自動的に印刷を行うことになる。

【0034】図5は情報通信装置300の他の構成例を示したブロック図である。この図5の情報通信装置は、図1におけるファクシミリ装置100とコンピュータ装置200とを一体化して成る構成であり、図1と同様の構成要素には同一の符号を付記してある。この図5の情報通信装置における各構成要素および動作内容は、図1乃至図4に基づいて説明した内容と同様である。

【0035】なお、以上の実施例では、コンピュータ装置上で作成したデータを対象とした電子メールの通信と、ファクシミリ装置上で作成した画像データを対象とした電子メールの通信（いわゆるインターネットファクシミリ通信）とを行う場合について説明したが、通信の種類として電子メールとPCファクシミリ通信とがある場合についても同様に適用できるものである。また、図1及び図5では、電話回線とインターネットとの両方にそれぞれ接続されたものとしているが、電話回線のみに接続され、インターネットへは所定のインターネットプロバイダを通じて接続される構成でもよいものである。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、各種の通信をを区別して管理することができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施の形態の情報通信装置を示すブロック図である。

【図2】図1の情報通信装置によるスキャナ機能動作を示すフローチャートである。

【図3】図1の情報通信装置によるインターネットファクシミリ送信動作を示すフローチャートである。

【図4】図1の情報通信装置による受信動作並びに自動印字処理を示すフローチャートである。

【図5】この発明の実施の形態の情報通信装置の他の例を示すブロック図である。

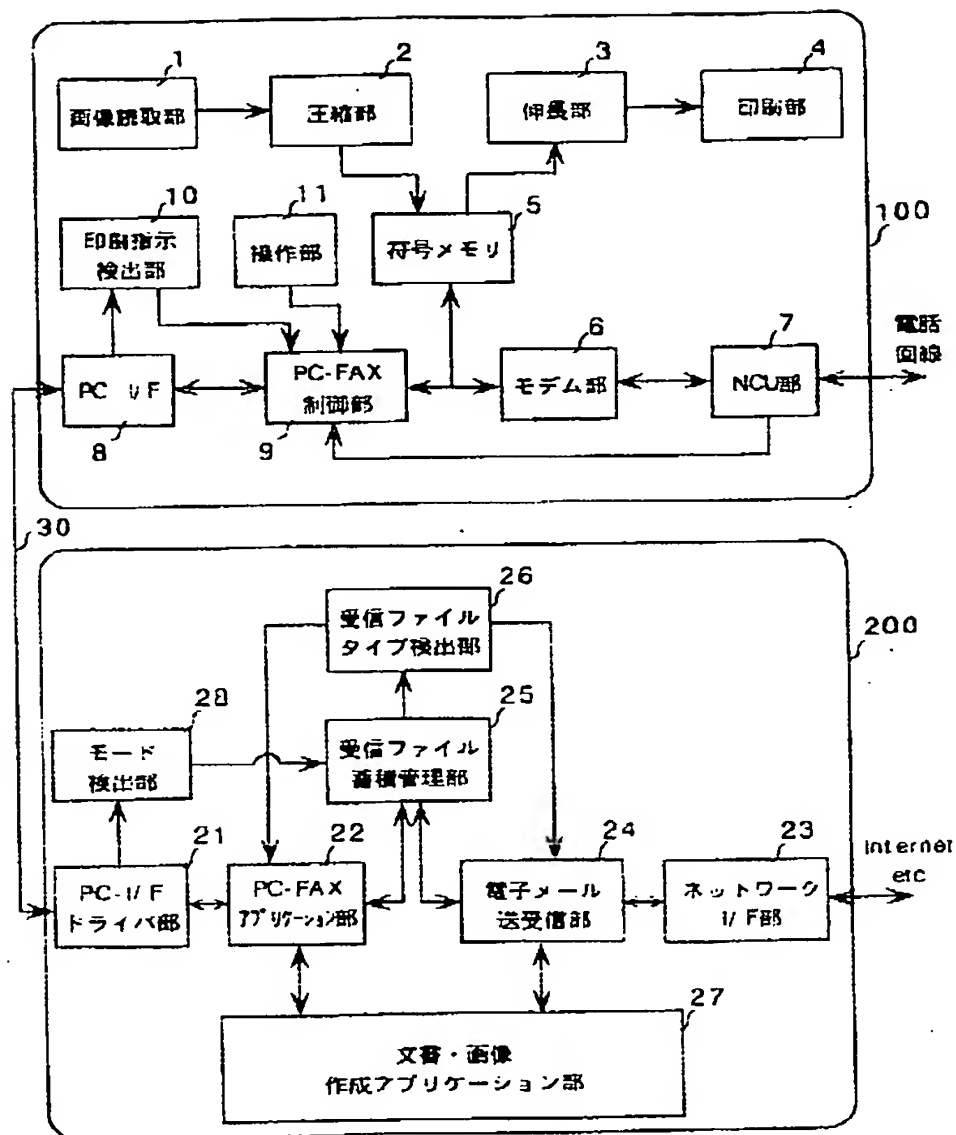
【符号の説明】

- 1 画像読取部
- 4 印刷部
- 5 符号メモリ
- 6 モデム部
- 8 PCインターフェース部
- 9 PCファクシミリ制御部
- 10 印刷指示検出部
- 11 操作部
- 21 PCインターフェースドライバ部
- 22 PCファクシミリアプリケーション部
- 23 ネットワークインターフェース部
- 24 電子メール送受信部
- 25 受信ファイル蓄積管理部
- 26 受信ファイルタイプ検出部
- 27 文書/画像作成アプリケーション部
- 28 モード検出部
- 100ファクシミリ装置
- 200コンピュータ装置

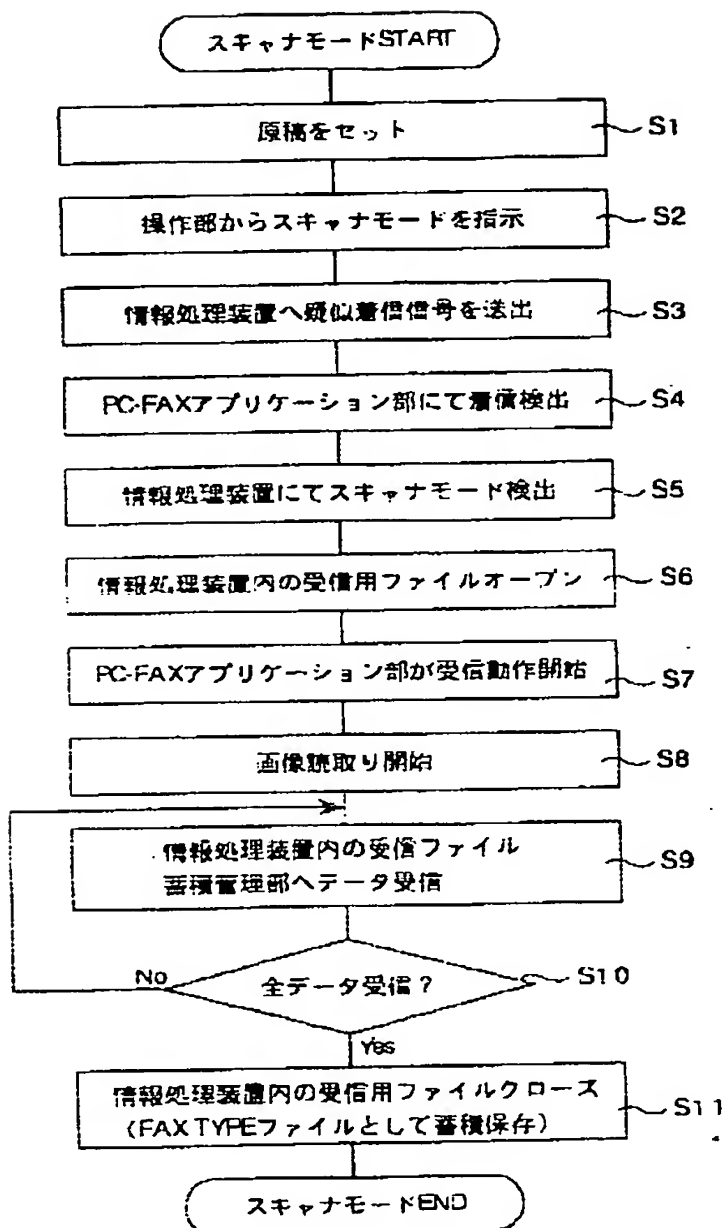
(7)

特開平10-293733

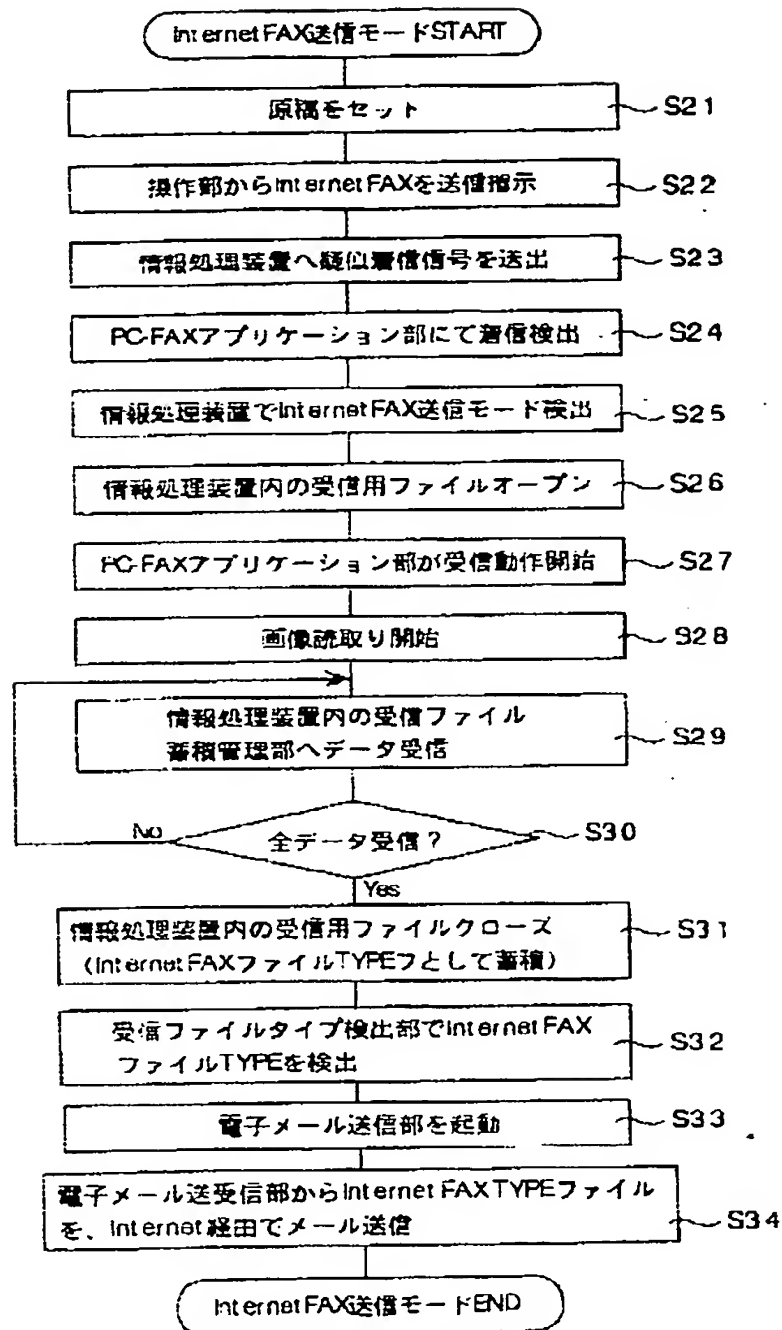
【図1】



【図2】



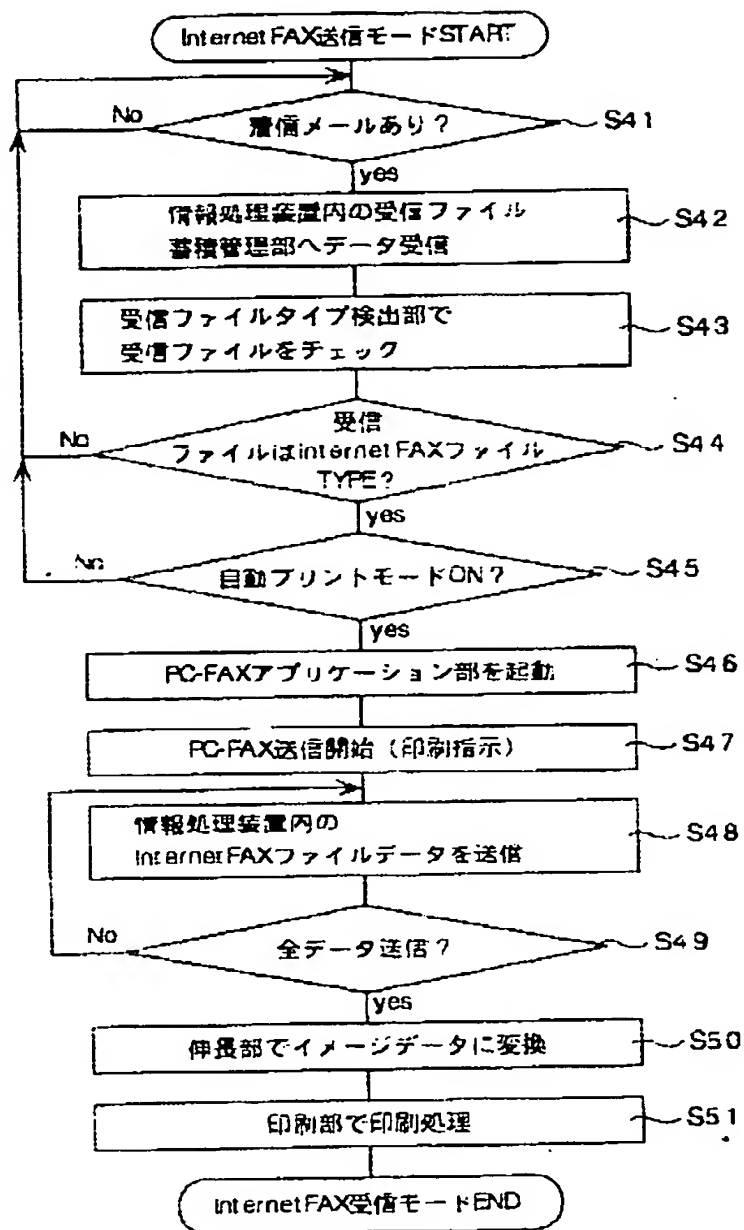
【図3】



(10)

特開平10-293733

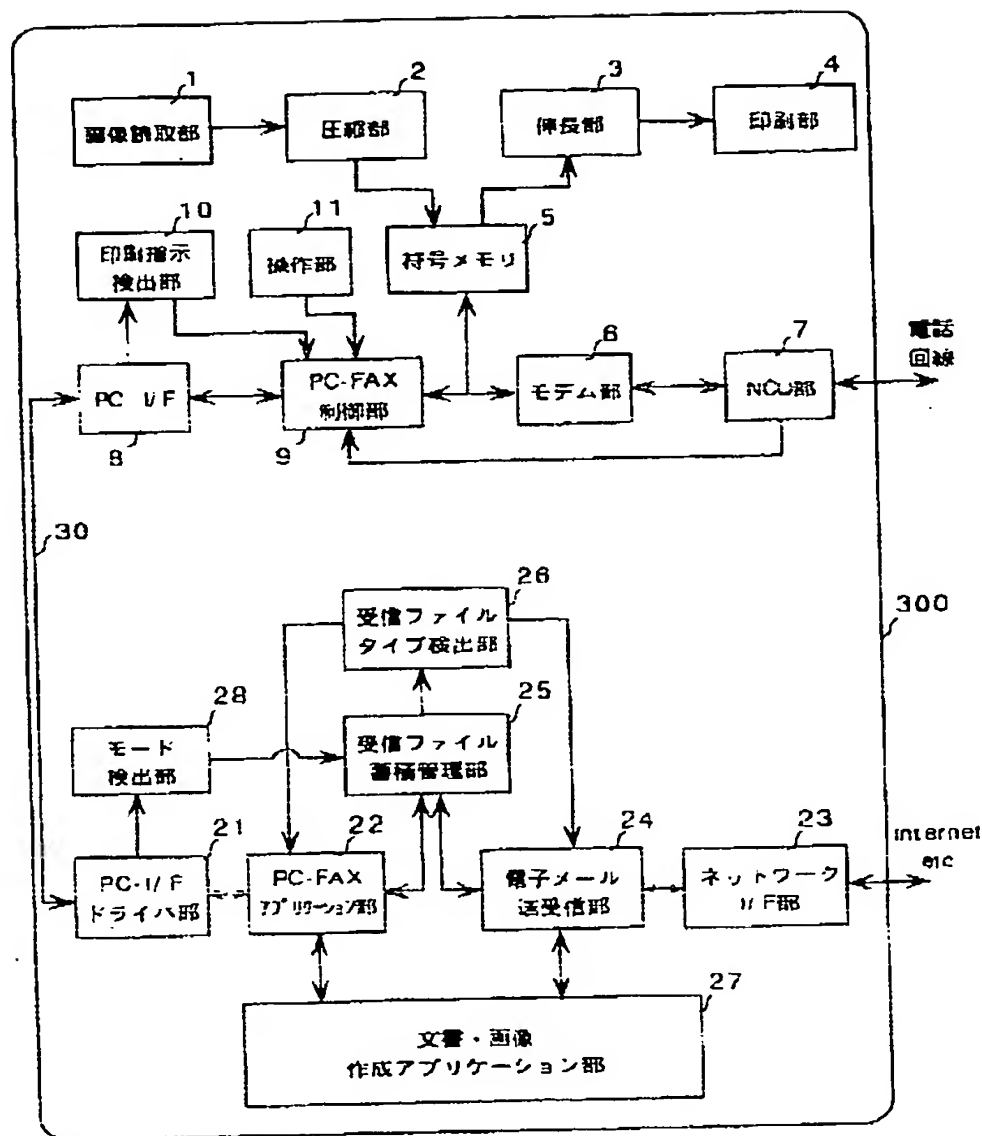
【図4】



(11)

特開平10-293733

【図5】



【手続補正書】

【提出日】平成10年4月7日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正内容】

【0010】上記の構成であれば、コンピュータ装置上で作成したデータを対象とした電子メールと、ファクシミリ装置上で作成した画像データを対象とした電子メール

とを統合環境で扱えるプラットフォーム上で共有管理した複数の受信データのなかから、前記識別情報に基づいて画像データを対象とした電子メールのみを選択して自動的にプリント出力する等の制御が可能となる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正内容】

(12)

特開平 10-293733

【0027】このように、前記ファクシミリ装置100は、前記画像データをコンピュータ装置200に転送する際に、当該画像データが電子メールで送信すべきものであることを示す指示情報を出し、前記コンピュータ装置200は指示情報を受けたときの画像データを電子メールで送信すべきものであるとしてそれ用のファイルに管理する（ステップ25乃至ステップ29）ので、以下に説明するように、送信データのなかから特定の送信データのみを選択して例えば直ちに送信するといった制御が可能となる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正内容】

【0030】待機状態においては、電子メール送受信部24は、ネットワークインターフェース部23を介してネットワーク上にある電子メールサーバーに対して着信メールの有無をチェックする（ステップ41）。着信メールがある場合には、電子メール送受信部24は、前記電子メールサーバーから着信メール情報を受け取り、受信ファイル蓄積管理部25に蓄積する（ステップ42）。ここで、送信側がこの発明の情報通信装置の機能、即ち、電子メールのサブジェクト情報内に識別情報を組み込む機能を有しているとする。受信ファイルタイプ検出部26は、上記の受け取った電子メールの受信フ

ァイルタイプを上記の識別情報に基づいてチェックし（ステップ43）、インターネットファクシミリ送信か否かを判断し（ステップ44）、インターネットファクシミリ送信でないと判断した場合は、ステップ41に進む。一方、インターネットファクシミリ送信であると判断した場合は、自動プリントモードが設定されているかを判断し（ステップ45）、自動プリントモードが設定されていなければステップ41に進み、自動プリントモードが設定されていればステップ46に進む。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正内容】

【0031】ステップ46では、自動プリント処理を実行するために、PCファクシミリアプリケーション部22を起動する。PCファクシミリアプリケーション部22は、Class1等のプロトコルでPCファクシミリ通信動作を開始し、印字指示コマンドをPCインターフェースドライバ部21を介してファクシミリ装置100のPCインターフェース部8に送信する（ステップ47）。送信された印字指示コマンドがPCインターフェース部8を介して印字指示検出部10にて検出されされると、この印字指示検出部10は、PCファクシミリ制御部9に対して印字モード動作信号を与える。